

韓国銀行による2001年朝鮮民主主義人民共和国のGDP推定結果

韓国銀行は独自に朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮と表記）の国民経済計算の推定を行っており、毎年その結果を発表している。

この推定は、基礎データの不足等により、北朝鮮経済を必ずしも正確に反映しているとはいえないが、国連の国民経済計算の国際標準体系(SNA: A System of National Accounts)を適用して算出されており、北朝鮮経済の概括的な動向と経済規模および経済構造等の実情を把握する上で、貴重な資料となっている。

以下は、ERINA 翻訳による、韓国銀行『2001年北朝鮮 GDP 推定結果』全文である。

	ページ
北朝鮮 GDP 推定方法の概要と精度	2
. 経済成長率	3
< 概況 >	3
< 産業別動向 >	4
. 産業構造	5
. 韓国・北朝鮮間の経済力の比較	5
< 参考 >	
1. 北朝鮮の経済活動別国内総生産	7
2. 2001年韓国・北朝鮮の主要経済指標比較	8
3. 北朝鮮の主要経済指標推移(1990~ 2001)	9

北朝鮮 GDP 推定方法の概要と精度

1. 推定方法の概要

韓国銀行は1991年以降、毎年朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮）経済を担当する関係機関からの生産量関連の基礎データに基づいて「北朝鮮 GDP」を推定している。

・同推定作業は北朝鮮の経済力を当行の経済視点から評価し、対北朝鮮政策の立案資料として活用する目的で推進している。

したがって、韓国での推定方法、すなわち国連の国民計算体系*(SNA, A System of National Accounts)を適用している。

* 現在、韓国を含む大部分の自由主義国家だけではなく、ロシア、中国など社会主義国家も国民所得統計の編成において同体系を適用している。

また、韓国の物価および付加価値率をそのまま適用し推定している。

2. 推定値の精度

北朝鮮の GDP は、北朝鮮経済専門機関で作成した基礎データを利用し推定してから、国内専門家の検証過程を経て確定されるため、その信頼度が非常に高く、特に北朝鮮経済の概括的な生産活動動向および産業構造の変化などを把握する上では国内外から非常に正確なデータとして評価されている

また、北朝鮮経済を韓国と同一の基準で評価するため、韓国と北朝鮮の経済力の比較が容易であり、今後の韓国・北朝鮮経済統合に備えた所要費用の算出などにとっても利点がある

一方、北朝鮮の経済規模と住民生活水準を表す名目 GNI と1人当たり GNI は、北朝鮮の物価、為替レートなどの基礎データの不足により韓国の物価と為替レートを適用したため、実際の北朝鮮住民の生活水準より高くあらわれる可能性がある。

しかし、北朝鮮住民が同所得（706ドル）で韓国の経済環境で生活すると仮定すると、北朝鮮住民の実際生活水準を把握する上では有用な根拠になりうる。

・ 経済成長率

< 概況 >

2001年の北朝鮮経済は、実質GDP水準で3.7%成長し、1999年から3年間連続プラス成長を続けている。

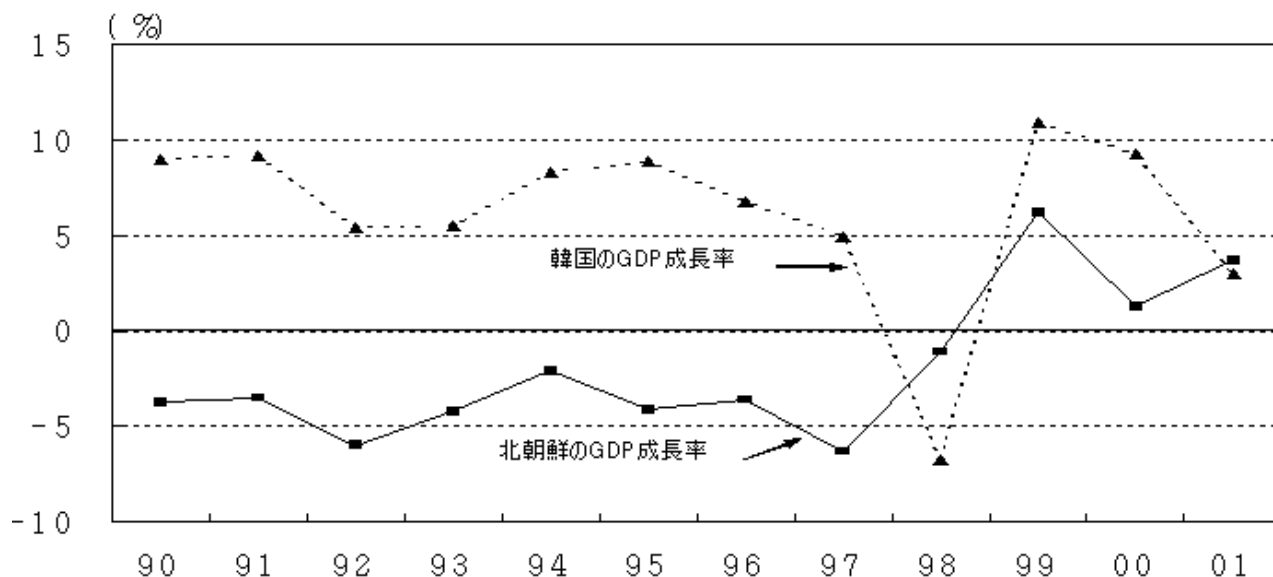
- ・ 北朝鮮は、2001年の基幹産業の正常化、消費財の生産増大、情報通信産業の育成などを経済部門の中心課題として設定し、経済再生に力を入れた。
- ・ こうした努力の結果、SOC部門と生産設備が補強され、政府サービスを除いた大部分の産業の生産が一律に増加した。
- ・ 一方、比重が大きい栽培業は成熟期の良好な気象条件の影響によって穀物収穫量が大きく増加したので、前年の7.9%の減少から8.2%の増加に反転した。

北朝鮮の経済成長率推移

単位：%

1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
-3.7	-3.5	-6.0	-4.2	-2.1	-4.1	-3.6	-6.3	-1.1	6.2	1.3	3.7
(9.0)	(9.2)	(5.4)	(5.5)	(8.3)	(8.9)	(6.8)	(5.0)	(-6.7)	(10.9)	(9.3)	(3.0)

()内は韓国の経済成長率



< 産業別動向 >

農林漁業は、比重が大きい栽培業が良好な気象条件と外国の肥料支援の増大などにより穀物収穫量が大きく伸びて8.2%増加し、漁業も内水面養殖を中心に6.9%増加するにつれて全体的には前年より6.8%増加した（前年-1.9%）。

- 穀類収穫量（精穀）は、穀物が168万トンで前年より18%増加し、トウモロコシおよびイモ類も増加するにつれて前年（359万トン）より10.0%増加した395万トンを記録したが、穀物需要量に比べては大きく不足している。

* 北朝鮮の2002年度穀物需要量の推定値：22%減量配給基準（成人546g/日）536万トン前後、正常配給基準（成人700g/日）626万トン前後

鉱業は、石灰石、マグネサイトなど非金属鉱物生産が9.4%増加し、石炭生産も1.9%増加して全体的には4.8%増加した（前年+5.8%）。

製造業は、生産設備の近代化および拡張など製造業部門の生産正常化努力によって前年より3.5%成長した（前年+0.9%）。

- 部門別では軽工業生産が飲食料品、靴などを中心に2.3%増加し、重化学工業生産は産業用化学製品、鉄鋼、産業用機械、非金属鉱物製品などの好調で4.1%増加した。

電気ガス水道は、電力不足克服のための火力発電所の稼働率の向上、新規発電所の建設などで電力生産が4.0%増加し、ガスおよび水道業も伸びて全体的には3.6%増加した（前年+3.0%）。

建設業は、アパートなど住居用の建物建設が大幅に増加し、灌漑水路、電力施設など土木建設と工場、農牧場など非住居用建物の建設も伸びて全体的に7.0%増加した（前年+13.6%）。

サービス業は、小卸売業（4.6%）と運輸業が伸びたが、飲食宿泊業（-5.8%）が観光客の減少などで減少したうえで政府サービス業（-0.4%）も減少したため、前年より0.3%減少した（前年+1.2%）。

北朝鮮の産業別成長率

単位：%

	北朝鮮			韓国	
	1999	2000	2001	2000	2001
農林漁業	9.2	-1.9	6.8	2.0	1.4
鉱工業	9.9	2.2	3.9	15.7	1.7
鉱業	14.1	5.8	4.8	2.5	0.5
製造業	8.5	0.9	3.5	15.9	1.7
（軽工業）	(2.4)	(6.2)	(2.3)	(2.1)	(-2.5)
（重化学工業）	(11.6)	(-1.5)	(4.1)	(19.3)	(2.6)
電気ガス水道業	6.8	3.0	3.6	14.0	5.7
建設業	24.3	13.6	7.0	-3.1	5.6

サービス業	-1.9	1.2	-0.3	7.1	4.1
（政府）	(-4.5)	(0.5)	(-0.4)	(3.3)	(3.4)
（その他）	(3.9)	(2.5)	(-0.1)	(9.2)	(4.4)
国内総生産（GDP）	6.2	1.3	3.7	9.3	3.0

産業構造

2001年中の産業構造をみると、鉱工業の比重は高くなったが、サービス業の比重は低くなり、農林漁業、電気ガス水道業、建設業は前年とほぼ同じ水準を維持した。

- ・ 製造業の比重は基幹産業の生産正常化努力によって前年より高い18.1%を記録した。
- ・ サービス業は小卸売業、運輸業などその他サービス業の比重が前年水準を維持したが、政府サービス業の比重下落によって前年より低い31.8%を記録した。
- ・ 電気ガス水道業、建設業の比重はエネルギー不足の解消および社会間接資本の拡充などによって前年とほぼ同じ水準を維持した。

北朝鮮の産業構造は韓国に比べ農林漁業、鉱業および政府サービスの比重ははるかに高いが、製造業およびその他サービス業の比重は非常に低い。

北朝鮮の産業構造

単位：名目基準、%

	北朝鮮			韓国	
	1999	2000	2001	2000	2001
農林漁業	31.4	30.4	30.4	4.7	4.4
鉱工業	25.6	25.4	26.0	31.6	30.3
鉱業	7.3	7.7	8.0	0.3	0.3
製造業	18.3	17.7	18.1	31.3	30.0
（軽工業）	(6.1)	(6.5)	(6.7)	(7.0)	(7.0)
（重化学工業）	(12.2)	(11.2)	(11.4)	(24.3)	(23.0)
電気ガス水道業	4.5	4.8	4.8	2.8	2.9
建設業	6.1	6.9	7.0	8.0	8.2
サービス業	32.4	32.5	31.8	52.9	54.1
（政府）	(22.8)	(22.6)	(22.2)	(9.8)	(10.4)
（その他）	(9.6)	(9.8)	(9.7)	(43.1)	(43.7)
国内総生産	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

韓国・北朝鮮間の経済力比較

2001年北朝鮮の経済規模（名目GNI）は韓国のウォン貨基準で20兆2,870億ウォンであり、韓国の

約1/27の水準である。

2001年における北朝鮮の一人当たりGNIは91.2万ウォンで、韓国の約1/13の水準である。

韓国ウォン貨の対米為替レートで換算した2001年の北朝鮮の一人当たり国民所得は約706ドルと推定した。

2001年における北朝鮮の人口は2,225万名で、韓国の1/2にも達していない水準である。

韓国・北朝鮮間の経済規模と一人当たりGNI比較

	北朝鮮 (A)		韓国 (B)		B/A(倍)	
	2000	2001	2000	2001	2000	2001
名目 GNI (10億ウォン)	18,977.9 (1.3)	20,287.0 (6.9)	519,227.4 (8.9)	543,874.6 (4.7)	27.4	26.8
一人当たりGNI(万ウォン)	85.6	91.2	1,104.6	1,148.8	12.9	12.6
人口(千名)	22,175	22,253	47,008	47,343	2.1	2.1

注: ()内は前年比増減率(%)

2001年北朝鮮の対外貿易規模は22億7千万ドルで韓国の約1/128の水準である。

- ・ 2001年北朝鮮の輸出および輸入がそれぞれ16.1%と14.9%増加し、対外貿易規模は前年より15.2%増加したため、対外貿易規模の韓国・北朝鮮間の格差は前年より縮小した。
- 輸出は水産物、繊維類などを、輸入は鉱物性燃料、穀物、建設装備および生産装備などを中心に増加した。

韓国・北朝鮮間の対外貿易規模の比較

	北朝鮮 (A)		韓国 (B)		B/A(倍)	
	2000	2001	2000	2001	2000	2001
貿易規模(億ドル)	19.7	22.7	3,327.5	2,915.4	168.9	128.4
輸出	5.6	6.5	1,722.7	1,504.4	307.6	231.4
輸入	14.1	16.2	1,604.8	1,411.0	113.8	87.1
輸出入の対GNI比率*	11.7	14.4	72.5	69.2	-	-

* 輸出入の対GNI比率(%) = (通関基準輸出入額 / 名目GNI) × 100

一方、2001年中の韓国・北朝鮮間の貿易規模は4億3百万ドルで前年より5.2%減少した。

- ・ 韓国の対北朝鮮輸出は商業性の貿易が大きく減少したうえ、金剛山観光事業など協力事業物資と対北朝鮮支援物資など非商業性の貿易も縮小したため、全体的に16.9%減少した。

主要輸出品目：化学工業製品、繊維類、1次産品、機械類・運搬機器の順

- ・ 輸入は委託加工貿易が不振であったが、農林水産品などの商業性取引が活発化したため、全体的に15.6%増加した。

主要輸入品目：農林水産品、繊維類、鉄鋼・金属製品、電気および電子の順

南北貿易の推移

単位：百万ドル、%

	1998	1999	2000(A)	2001(B)	(B-A)	増減率
搬出*	129.7	211.8	272.8	226.8	-46.0	-16.9
搬入*	92.3	121.6	152.4	176.2	23.8	15.6
合計	221.9	333.4	425.2	403.0	-22.2	-5.2

* 韓国基準【訳者注：南北間の貿易は国内扱いとなるため、輸出入ではなく搬出入と表記】

参考1

北朝鮮の経済活動別国内総生産

単位：韓国10億ウォン、%

	実績		名目		増加率 (実績)	構成比 (名目)
	2000	2001	2000	2001		
農林漁業	5,103.6	5,450.0	5,749.6	6,139.4	6.8	30.4
鉱工業	4,282.9	4,449.0	4,813.7	5,267.6	3.9	26.0
鉱業	1,185.0	1,242.3	1,463.1	1,616.5	4.8	8.0
製造業	3,097.9	3,206.7	3,350.6	3,651.1	3.5	18.1
電気ガス水道業	684.5	709.2	901.9	968.3	3.6	4.8
建設業	1,144.7	1,225.4	1,312.7	1,409.7	7.0	7.0
サービス業	5,249.7	5,234.0	6,149.6	6,437.7	-0.3	31.8
政府	3,538.1	3,523.9	4,286.6	4,482.9	-0.4	22.2
その他	1,711.6	1,710.1	1,863.0	1,954.8	-0.1	9.7
小卸売および飲	65.8	66.3	71.1	75.8	0.7	0.4
食宿泊	482.5	496.7	450.7	486.9	3.0	2.4
運輸および通信	1,134.0	1,138.4	1,313.1	1,383.1	0.4	6.8
金融保険不動産	29.3	8.7	28.1	9.1	-70.5	0.0
その他サービス						
国内総生産	16,465.4	17,067.5	18,927.5	20,222.8	3.7	100.0

参考 2

2001年韓国・北朝鮮間の主要経済指標の比較

	単位	北朝鮮 (A)	韓国 (B)	B/A(倍)
1. 人口	千名	22,253	47,343	2.1
2. 名目 G N I	10億ウォン	20,287.0	543,874.6	26.8
3. 1当たりG N I	万ウォン	91.2	1,148.8	12.6
4. 経済成長率	%	3.7	3.0	-
5. 対外経済				
貿易総額	億ドル	22.7	2,915.4	128.4
(輸出)	"	6.5	1,504.4	231.4
(輸入)	"	16.2	1,411.0	87.1
(貿易額 / 名目 GNI)	%	14.4	69.2	-
対米為替レート	ウォン/ドル	2.21	1,290.83	-
対外債務	億ドル	N.A.	1,198.6	N.A.
(対外債務 / 名目 GNI)	%	N.A.	28.5	-
6. 予算規模 1)	億ドル	98.1	768.3	7.8

注 : 1) 北朝鮮は決算基準、韓国は中央政府の一般会計予算(追加経済予算を含む)基準

7. エネルギー産業				
石炭生産量	万 ton	2,310	382	0.2
発電容量	万 kW	775	5,086	6.6
発電量	億 kWh	202	2,852	14.1
原油輸入量	万 ton	58	11,724	202.1
8. 農水産物生産量				
穀物	万 ton	394.8	620.0	1.6
(米)	"	168.0	551.5	3.3
水産物	"	74.6	266.5	3.6
9. 鉱産物生産量				
鉄鉱石	万 ton	420.8	22.7	0.05
非鉄金属	"	9.2	114.0	12.4

10. 主要工産品生産量	万台	0.57	294.6	516.8
自動車	万 ton	106.2	4,385.2	41.3
鋼鉄	"	516.0	5,201.2	10.1
セメント	"	54.6	350.0	6.4
肥料	"	2.7	234.0	86.7
化繊				
11. 社会間接資本				
鉄道総延長	Km	5,224	3,125	0.6
道路総延長	Km	23,963	91,396	3.8
港湾荷役能力	万 ton	3,550	46,960	13.2
船舶保有	万 ton	85.0	659.3	7.8

参考3

北朝鮮の主要経済指標推移 (1990~2001)

	単位	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
1.人口	千名	20,221	20,495	20,798	21,123	21,353	21,543	21,684	21,810	21,942	22,082	22,175	22,253
2.名目GN I)	10億ウォン (億ドル)	16,326 (231)	16,767 (229)	16,447 (211)	16,431 (205)	17,026 (212)	17,170 (223)	17,256 (214)	16,814 (177)	17,597 (126)	18,741 (158)	18,978 (168)	20,287 (157)
3.1当たりGN I)	万ウォン (ドル)	80.7 (1,142)	81.8 (1,115)	79.1 (1,013)	77.8 (969)	79.7 (992)	79.7 (1,034)	79.6 (989)	77.1 (811)	80.2 (573)	84.9 (714)	85.6 (757)	91.2 (706)
4.経済成長率2) (GDP基準)	%	-3.7	-3.5	-6.0	-4.2	-2.1	-4.1	-3.6	-6.3	-1.1	6.2	1.3	3.7
5.対外経済 貿易総額	億ドル	47.2	27.2	26.7	26.4	21.1	20.5	19.8	21.8	14.4	14.8	19.7	22.7
(輸出)	"	19.6	10.1	10.3	10.2	8.4	7.4	7.3	9.1	5.6	5.2	5.6	6.5
(輸入)	"	27.6	17.1	16.4	16.2	12.7	13.1	12.5	12.7	8.8	9.6	14.1	16.2
(貿易額/名目 GNI)	%	20.4	11.9	12.6	12.9	10.0	9.2	9.3	12.7	8.8	9.4	11.7	14.4
対米為替レ ート	ウォン/ ドル	2.14	2.15	2.13	2.15	2.16	2.05	2.14	12.3	11.4	2.17	2.19	2.21
対外債務 (対外債務/名 目GNI)	億ドル %	78.6	92.8	97.2	103.2	106.6	118.3	120.0	2.16	2.20	123.	124.6	N.A.
6.予算規模3)	億ドル	34.0	40.5	46.0	50.3	50.3	53.0	56.1	119.	121.	0	74.2	N.A.
									0	0	77.8		
									67.2	96.8			
		166.0	171.7	184.5	187.2	191.9	N.A.	N.A.	91.3	91.0	92.2	95.7	98.1

注： 1) ()内はウォン貨の対米ドル為替レートで換算した数値

2) 1995年基準年価格基準

3) 北朝鮮最高人民会議が発表した北朝鮮ウォン貨表示予算(決算基準)を北朝鮮当局が定めた商業為替レートで換算

7. エネルギー産業													
石炭生産量	万ton	3,315	3,100	2,920	2,710	2,540	2,370	2,100	2,060	1,860	2,120	2,250	2,310
発電容量	万kW	714	714	714	714	724	724	739	739	739	739	755	775
発電量	億kWh	277.4	263.0	247.0	221.3	231.3	230.0	212.7	192.7	169.5	185.7	193.6	201.5
原油輸入量	万ton	252	189	152	136	91	110	93.6	50.6	50.4	31.7	38.9	57.9
油類輸入量	万ton	84.2	80.4	84.0	82.8	72.8	67.2
8. 農水産物生産量													
穀物(米)	万ton	402	442.7	426.8	388.4	412.5	345.1	369.0	348.9	388.6	422.2	358.8	394.8
水産物	"	146	164.1	153.1	131.7	150.2	121.1	134.0	150.3	146.1	162.9	142.4	168.0
	"	145.5	120.0	114.1	108.9	99.8	105.2	87.6	65.1	62.7	66.4	69.8	74.6
9. 鉱産物生産量													
鉄鉱石	万ton	843.0	816.8	574.6	476.3	458.6	422.1	344.0	291.0	289.0	378.6	379.3	420.8
非鉄金属	"	24.1	22.7	17.8	16.4	16.0	15.4	11.8	10.8	9.7	11.1	9.6	9.2
10. 重化学生産量													
自動車	万台	1.3	1.2	1.0	1.0	0.9	0.87	0.85	0.64	0.64	0.73	0.66	0.57
鋼鉄	万ton	336.4	316.8	179.3	185.9	172.8	153.4	120.8	101.6	94.5	124.3	108.6	106.2
セメント	"	613.0	516.9	474.7	398.0	433.0	422.0	379.0	334.0	315.0	410.0	460.0	516.0
肥料	"	119.5	108.1	104.3	121.2	99.3	91.0	72.1	58.0	52.7	77.0	53.9	54.6
11. 軽工業生産													
織物	億m ²	2.0	2.1	1.7	1.9	1.9	1.8	1.5	1.2	1.1	1.0	1.1	1.0
化繊	万ton	5.0	5.4	4.2	5.3	5.8	5.6	5.6	3.7	3.5	2.7	2.9	2.7
12. 社会間接資本													
鉄道総延長	Km	5,045	5,059	5,096	5,112	5,112	5,112	5,112	5,214	5,214	5,214	5,214	5,224
道路総延長	Km	23,00	23,00	23,21	23,21	23,21	23,33	23,36	23,37	23,40	23,47	23,63	23,963
港湾荷役能力	万ton	0	0	9	9	9	9	9	7	7	9	3	3,550
船舶保有	万ton	3,490	3,490	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,530	85.0
		54	60	85	88	89	89.5	92.1	95.0	95.0	79.0	85.0	